



釜無川下流

# 富士見町のきれいな水を守りましょう！

わたしたちのふるさと『富士見町』は、東に八ヶ岳連邦がそびえ、西には入笠山や釜無山がそびえて、その山々を背景とした広大な高原が広がっています。その山々を源として、富士見町には立尾川や切掛川、釜無川などの河川が流れています。これらの河川の水は、昔から飲み水や農業などに利用されて、わたしたちにとっての生活を支えています。そして、河川は、わたしたちが生活するために使った水や、雨水などを流す役目も果たして、さらに、その水は下流に住む人々も大切に利用しています。

富士見町では、この大切な河川の水を守るために、わたしたちの家庭から出る水を直接河川に流さないように、下水道の整備も進め、また、長年にわたって、町内を流れる河川の水質調査を行ってきました。

このたび、これまでに行ってきた水質調査の平成元年から平成15年までの結果を整理して、河川の水がどのように変化しているのかを報告書としてまとめ、あわせて、ここに報告書の概要版を作成しました。

概要版を多くの人々に読んでいただき、富士見町の河川の水質について知り、そして、身近に流れる河川の水をきれいにする気持ちを持ってもらえればうれしく思います。

## 河川の水質調査について

富士見町で行っている河川の水質調査では、おもに、わたしたちの生活に関係のある項目（生活環境項目といいます）で調査をしています。ここでは、生活環境項目について説明します。

### 水質の調査項目

#### ▼ pH（水素イオン濃度）

pH（ペーハー）またはピーエイチ）は、調査した結果が7より大きければ水質がアルカリ性、7より小さければ酸性を意味し、7は中性を意味します。リトマス試験紙で調べることもできます。数値

の単位はありません。

#### ▼ BOD（生物化学的酸素要求量）

BOD（ビーオーディー）は、調査した結果が高いほど、水の中に多くの有機物（おもに動物や植物が腐るなどして作り出される物質）が含まれていて、水が汚れていることを意味します。数値の単位は、 $\text{mg/l}$  で、 $1\text{mg/l}$  は、 $1\text{l}$ の中、100分の1g含まれていることを示します。